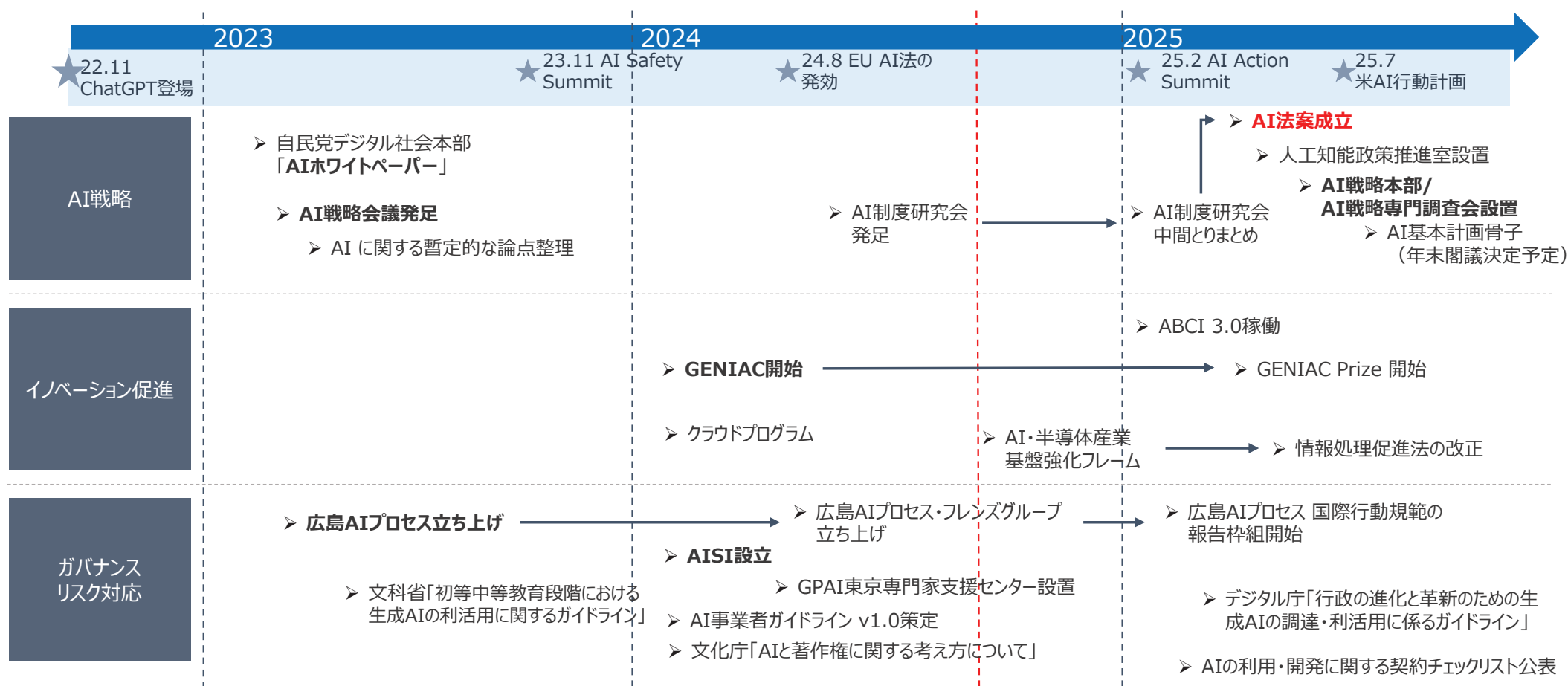


これまでの生成AI政策

生成AIの出現以降、政府は適切に政策を進めている。今年に入りAI法の成立、AI戦略本部・専門調査会の設置などが実現し、年末のAI基本計画策定に向けて議論が進んでいる。



出所) 各種報道、政府資料を基に作成

今後のAI政策の方向性



AI基本計画では世界で最もAIフレンドリーな国を志向し、4方針を掲げる。特に全国規模でのAI活用、AIロボティクスの実装推進、海外への展開は、今後重要と考える。

AI基本計画骨子の4方針と取組例

1. AIを使う：AI利 活用の加速的推進

- **様々な局面でのAI利活用を推進**。まず使ってみるという意識を広く社会に醸成
- **政府でのAI徹底利用**
- AIエージェントや**フィジカルAI等の開発・実証・導入促進**
- 中小企業を含む**地域産業でのAI導入促進**
- AI利活用を前提に既存の規制や制度の見直し

2. AIを創る：AI 開発力の戦略的 強化

- 国内で、独自にAIEコシステムを開発できる能力を強化
- 多様なサービス創出
- **フィジカルAIの開発・実証**、AI for Science等の推進
- 質の高い日本語データの整備・拡充
- A I 開発力を支える利用基盤の増強・確保
- **積極的な海外展開**と、国内外からのA I 開発者の確保

3. AIの信頼性を高 める：AIガバナンス の主導

- 変動するリスクを適時適切に把握
- AISIの抜本的強化
- **グローバルサウス等との国際協調**
- 軍事領域に関するAIに関し、**国際的な議論への積極的な参画**
- AIモデルの相互運用性の確保を重視

4. AIと協働する： AI社会に向けた 継続的変革

- AIトランスフォーメーションの促進、データセンター整備とAI利活用産業の一体振興による**新たな地域産業の創出**
- AI社会における規制や制度のあり方の検討・実証
- 雇用への影響の調査・分析と包括的な対策
- アドバンスド・エッセンシャルワーカー創出のためのリスクリリング支援
- AI社会を生き抜く人間力を向上

今後重要と考えるトピック（※委員個人の見解）

• 全国規模でのAI活用

- 政府・自治体での徹底活用
- 特に人手不足領域でのAI導入促進
- 地方での人材育成・スタートアップ創出

• **フィジカルAI（AIロボティクス）の実装推進**

- 米中では家庭用ロボット市場の本格化見通し
- 国内でロボットのデータを集め、基盤開発・実証・導入を強力に推進

• 海外への展開

- 頭脳流出が深刻な新興国で、人材育成・スタートアップ輩出を支援し、ローカル経済圏を強化
- AI産業の海外市場への展開を支援
- ガバナンスに関する国際協調のリード

出所）内閣府「人工知能基本計画の骨子（たたき台）の概要について」注）取組例については、適宜原文を抜粋した箇所がある

©MATSUO-IWASAWA LAB, THE UNIVERSITY OF TOKYO